

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和4年度第2回川西市障がい者自立支援協議会	
事務局		社会福祉法人 川西市社会福祉協議会 障がい者基幹相談支援センター	
開催日時		令和4年11月29日(月) 午前10時00分～午前11時50分	
開催場所		キセラ川西福祉棟2階 共用会議室A・B	
出席者	委員 (敬称略)	船木会長、秋山委員、中田委員、田中委員、渡辺委員、熊手委員、川瀬委員、森田委員、石光委員、斎藤委員、上原委員、聳城委員 木山委員、篠原委員 代理出席：呉屋委員代理 林本	
	その他	(欠席) 嶋川委員、篠木委員、神谷委員、今谷委員、岡坂委員、	
	事務局	前田	
傍聴の可否		可・不可・一部不可	傍聴者数 1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1. 開会 2. 議題 (1) 計画策定のためのアンケート(案)について (2) 日中支援サービス型共同生活援助の評価について (3) その他 3. 閉会	
会議結果		別紙のとおり	
事務局	<p>定刻になりましたので始めさせていただきます。本日はお足元の悪い中ご参加いただきありがとうございます。第2回川西市障がい者自立支援協議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。開催にあたりましてご多忙の中、事前資料の提出などご対応・ご協力いただきました事に感謝いたします。</p> <p>それでは、欠席者のご報告をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員連合会 嶋川様 ・身体障害者父母の会 篠木様 ・阪神北圏域障害者等相談コーディネーター 神谷様 		

審 議 経 過

	<p>・伊丹公共職業安定所 今谷様 ・子ども未来部子ども支援課 岡坂様さま 欠席者 5 名、出席者 16 名、過半数のご出席を頂きましたので本会は成立となります。</p> <p>ただいまより、令和 4 年 第 2 回川西市障がい者自立支援協議会を開催いたします。なお、本日の会議の様子は、会議録作成のために録音させていただきますのでご了承くださいませようよろしくお願いいたします。</p> <p>開会の前にお手元資料のご確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 8 次川西市障がい者福祉計画策定に係るアンケートの実施について ・川西市の障がい者福祉に関するアンケート調査 障がい者 一般市民 事業者 ・日中サービス支援型共同生活援助について ・日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価シートの提出について ソーシャルインクルー ラシエル <p>計 8 部となります。以上お手元に揃っているでしょうか。</p> <p>開会のご挨拶を船木会長よりお願いいたします。</p>
会長	<p>おはようございます。川西市社会福祉協議会 常務理事の船木です。 本日はお忙しい中、自立支援協議会にご参加いただきましてありがとうございます。本日の協議会は 1 つ目は第 8 次川西市障がい者福祉計画策定に係るアンケート案についてご意見を頂きたいのと、もう一つは日中サービス支援型共同生活援助の評価についてです。評価については本市では初めての評価という事になっております。また、他市でも先行事例がないという事で手探りといえますか、試行錯誤をしながらになりますので、手間取る部分もありましたらご容赦いただきましてご協力をお願いしたいと思います。それでは本日はよろしくお祈りします。</p>
事務局	<p>ここからは船木会長に議事進行をお願いしたいと思います。船木会長よろしくお祈りいたします。</p>
会長	<p>それではお手元の次第に沿って議事すすめてまいります。1 つ目の計画策定のアンケート案について、障害福祉課の斎藤委員から説明をお願いします。</p>
委員	<p>資料 1 をご覧ください。現在の第 7 次川西市障がい者福祉計画、障がい者福祉プラン 2023 につきましては、令和 5 年度を以って計画期間が終了するため、次期計画策定の基礎資料を得ることを目的として、次に掲げる 3 種類のアンケートを実施する予定です。</p> <p>アンケートの実施に当たり、昨今の障がい者福祉の動向を踏まえて調査すべき項目を委員のみなさまのご意見を頂けたらなと思っております。まず、資料 1 - 1 障がい者手帳所持対象アンケートです。 川西市在住で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のい</p>

審 議 経 過

ずれかを所持する方を対象として、生活の状況や問題点などについて把握するという事にしております。対象人数は18歳以上の身体、療育、精神各400名と、18歳未満の障がい児の方を対象とした各障害者手帳所持者400人合わせて1600人を調査対象としております。次に一般市民対象アンケートです。川西市在住の市民を対象に、障がい者との関わりや障害者福祉の関心などについて把握するものです。

これにつきましては、各種障害者手帳を所持していない18歳以上の市民1000人を無作為抽出してアンケート調査をかけたいと思います。次は事業者対象アンケート、これにつきましては、川西市民が利用する障害者福祉サービス等を提供している事業所を対象として、事業所実施していく上での問題点や課題点、今後のサービス提供の履行、現行制度への要望などについて把握するものです。対象は、現在利用のある約350事業所からという事です。配布は、郵送いたします。今回は回収方法を工夫しまして、郵送と併せてインターネットでの回答も実施する予定です。紙に書くのが大変な場合はインターネットから回答いただけるようにすることで、回収率をあげるよう取り組んでいきたいということでございます。実施時期は、令和4年1月上旬から2月上旬の約1か月間を予定しております。また回答期限の少し前に回答をお願いする督促のはがきをお送りし、回収率をUPしていきたいと思っております。次に質問事項です。今までのアンケートの調査項目に新しい質問を加えております。

まず、障がい者手帳保持者対象アンケートですが、今回設問数が増えて43問にしております。前回は34問でした。まず、障害者福祉サービスの利用について満足しているか。災害時における対策は十分か。地域とどのような関わりを持っているか。どのようなことを差別や偏見と感じているか。というところは従来と同じような質問になっています。新たな視点として5つ挙げております。働くときにどのような事に困ったり、不安に思っているか。働きたくない・働くことができない理由は何か。これは現在私共は障がい者の雇用就労を推進しておりますので、アンケートの中で障がいをお持ちの方の働くときの不安点やできない要因を少お聞きして施策に繋がれたらなという事です。

将来一人で地域で生活していくとき、どのような支援が必要か。地域の人にどのような手助けをして欲しいか。これは親なき後を踏まえた質問と考えていただいてもいいかなと思います。将来一人で地域で生活する中で、どのような支援が必要かというのをお聞きして策に繋がれたらという事です。最後に障がい者にとって暮らしやすい街になるには、どのようなことが必要か。従来そういった質問が無かったので、今回は挙げております。障がい者にとって暮らしやすい街になるにはどのようなものが必要かというのを聞いていけたらという意図です。

次に一般市民を対象としたアンケートは、設問が18問、前回と同じくらいです。今回は新たに2つの視点を入れています。地域で障がいのある人が困っていたら、その人に対してできることは何か。障がい者への理解を深めるためには必要なことは何か。ということをも市民のみなさまにお聞き出来たらということです。事業者対象アンケートにつきましても、前回より設問を増やしています。新たに3つの視点からお聞き出来たらなということで、人材の確保に向けて行っている事は何か。川西市が不足している社会資源は何か。障がい者にとって暮らしやすいまちになるには、どのようなことが必要か。という視点を挙げて今回のアンケート調査に取り組ん

審 議 経 過

	<p>でいきたいと思っております。以上です。 実施時期が令和4年になっていますが、令和5年の間違いです。すみません。</p>
会長	<p>それでは今のご説明について、何かご質問等はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>はい。2番の調査対象者について2点お尋ねしたい事があります。身体、療育、精神、だいたい6対3対1くらいの人数割合になると思います。にもかかわらず400人ずつでいいのか。それと3番目の350事業所は、何事業所のうちの350なのかをお尋ねしたいです。</p>
会長	<p>斎藤委員お願いします。</p>
委員	<p>障害手帳者数は全体で約8700人。身体は、約6000人で、知的は1300人、精神も同じくらいです。おっしゃるように同じ人数でいいのかということもありますけど、私どもとしてはできれば前回との対比も考えて同じ数字でアンケートを渡すということにしました。</p>
委員	<p>では、3番目の事業所の母数はどのくらいですか。</p>
委員	<p>基本的には全事業所を対象としました。</p>
委員	<p>今のお答えは分かりました。これは決定でいいんですけど、精神と療育の対象割合と比べたら身体は、10%もいかないということになりますよね。それでやっていくということで理解はしました。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご質問等ございますか。 特にないですかね。見ていただいて、何かあれば障害福祉課までということをお願いします。そうしましたら、2つ目の項目、日中サービス支援型共同生活援助の評価について、これも斎藤委員から説明をお願いします。</p>
委員	<p>日中サービス支援型共同生活援助、グループホームの一形態ですね。平成30年度障害福祉サービス等酬改定により創設された新たなタイプのグループホームです。障がい者の重度化、高齢化のために日中サービス等を利用できない障がい者が主な対象者となります。このグループホームですが短期入所を併設するようという事で定めておまして、地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとなっています。入居定員は2名以上10名以下となっております。 この新たなタイプのグループホームが開設される場合は、必ず地域の設置している協議会へ毎年1回報告をして評価を受ける必要があります。令和4年2月に2か所市内に日中サービス支援型グループホームができて、この2つに関して初年度につきましては、年度内に必ず調査を受けるようという定めをしております。そのため、この自立支援協議会でみなさまの意見や評価、要望等お伺いしまして事業者へ返し、次年度に向けて取り組んでいただくという流れとなります。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。今の説明で何か聞いておきたいことは特にないですか？そうしましたら、残りの時間で2事業所の評価をしていかな</p>

審 議 経 過

	<p>ければなりませんので、おおよそ進め方としましてはラシエルが先で、ソーシャルインクルーを2番目という形で進めます。事前に報告・評価シートの提出を頂いていて、またみなさまにも意見をいただいておりますので、報告の部分は、それに变えさせていただきます。仮にそこに書いてること以外で何か説明したいことがあるというのであれば、ご説明いただくかなと思います。その後、皆様から事前にいただいていたご質問等から5点ほど選ばせていただいてご質問していきたいと思います。その上で委員のみなさんから追加でご質問しておきたいということがあれば、ご質問いただくという形で進めさせていただきます。質疑終了後は事業所にはご退席いただいて評価を行います。評価は先ほど言いましたように助言やいろいろな意味合いを含むと思うのですが、良い点があればそこはしっかり押さえてもらうというのと、改善が必要な点。この2つを軸にご意見を頂いて評価をまとめていきたいなと考えております。</p> <p>ラシエルから事前に頂いたシートに書いてあること以外で何かご説明をしておきたいなということがあればお願いします。</p>
ラシエル	<p>管理者の改田です。ラシエル加茂は男性10名、女性10名、男性のショートステイ1名1室を用意しているグループホームとなっております。現在は満床で、女性の空きが1室のみとなっております。2月に最初の入居者が入られまして、まだ1年経っていない状況です。職員の入れ替わりが激しくて、今のところ15名となっております。概要は以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そうしましたら質問を5点あげさせていただきます。まずは、災害時における体制ですけども、BCP事業継続計画や安全対策マニュアルはありますか？また、避難訓練を実施して課題はありましたでしょうか。</p>
ラシエル	<p>事業継続計画と安全対策マニュアルは、会社としてはあるんですけども事業所で従業員に周知できているという状況ではまだなくて、これからきちんと周知できるようにしていきたいところになっております。避難訓練は年に2回、国で決められたように実施しております。先日は2階からの避難を想定した避難訓練を行いました。ハザードマップと火事・水害が起こったときはどこに避難をしたら良いかというのをマップなどで確認しております。うちですとハピネス川西に行くことになっております。マップでココというところ、一番近いところはどこだろうということは職員も確認をしておりますけども、まだきちんとしたものを職員全員が把握するというところまでは至っておりません。</p>
会長	<p>2階からの避難訓練をされて、何か課題とかありましたか。</p>
ラシエル (25:05)	<p>普段は2階の避難階段に南京錠で施錠しているんですね。南京錠のカギの場所をどこにするのか、万が一火事などが起こった時に慌てふためいてどこにあるか分からないということでもだめですし、分かり易すぎて防犯上ダメだということもあります。今は鍵付きのキッチンの引き出しに入れてますが、鍵付きのところに入れておくのはどうだろうというところがあります。あと車いすの方は別経路での避難になるので、そこはスタッフが手分けして、徒歩で避難できる方と車いすで避難する方、瞬時に分かれて避難するというのを一番のポイントとして訓練しました。</p>

審 議 経 過

会長	<p>ありがとうございました。次の質問です。資料でいうと5ページ、緊急時の対応ということで、マニュアルがまず整理されているのかということと、マニュアルを職員が共有できているのか、マニュアルはあるけれども課題があるのかということをお願いします。</p>
ラシエル	<p>まさに今マニュアルを作成中です。今までも救急を要することがあり、たまたま私がいた時だったんで救急車を呼ぶ等の対応をしました。私も常にいるわけではないので、経験の少ない職員でもきちんと対応できるようなマニュアルを今作成中です。そこには、救急隊員に情報提供をするための書類であったり、保険書類であったり、あと現金を救急時のために置いておくのかといのを検討しています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では資料の6ページ、支援の質の確保という部分ですね。研修計画の作成や研修以外でも支援の質の確保のために実施していることはありますか。</p>
ラシエル	<p>年間を通して12項目の研修を実施しております。すべて事業所でまとめて、本部に報告。パートも含めてすべての職員が必ず月に1回受けるという事になっております。報告書をきちんと書いてもらい、それをまとめて本部に送るようになっております。研修・教育委員会みたいなものがあるんですけど、そこが研修項目をまとめているのと、法で決められた研修もそこに入れ込んでいます。</p>
会長	<p>研修以外での工夫とか何かありますでしょうか。</p>
ラシエル	<p>他所から転職で来られる方が多いんですけどもそういった方から聞き取りをしたりですとか、経験の長い方から経験の浅い方へお教えする、それ以外にもノートを駆使しておりまして、こういうことがありました、こういう風にしてはどうですかということを職員間で共有したり、意見を出し合えるようにしたりしております。</p>
会長	<p>次の質問ですが、資料9ページ、利用者のプライバシーに関する関係ですけども、職員に対する指導や教育はどのようにされていますか？</p>
ラシエル	<p>何がプライバシーに関わる状況なのかという事を一つ一つ説明していくという事をやっています。部屋の開けっぱなしのことにに関してこれは本人が望んでしているのか、していないのか。トイレなんかもそうです。あと書類に書かれている、みなさんのおうちのことであったり、その方の生い立ちであったり、どのような症状をお持ちなのかなどたくさんの情報を抱えている訳ですから、書類に関する扱いなんかも職員には何度も伝えるようにしています。もちろん鍵付きのキャビネットにしまうようにしていますし、そういうことは常日頃から伝えるようにしています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。虐待等という部分で、研修の受講後職員の意識とか行動とかに変化はありましたでしょうか。</p>
ラシエル	<p>はい。少し嬉しい変化が一つありまして、これって虐待ですか？と聞いて</p>

審 議 経 過

	<p>くれるようになりました。調子が良いければ利用者自身で食事をされるんですが、これを食べたらデザートがあるからとか、好きなものがあるからとそれを目の前に置いて、食事を促すというのは、虐待になりますかという事を聞かれることがありました。そういう意識に変わってくれたんだなと、これは虐待にあたりますか？と聞いてくれる職員が増えてきましたので、これは良いことだなと感じております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そうしましたらみなさんから今の質問を深掘りしたいとか、そのほかこの部分を聞いておきたいなという事がありましたら、ご質問していただいたらと思いますがいかがでしょうか？</p>
委員	<p>この回答は何人に配って何人の回答なんでしょうか。</p>
事務局	<p>21名に配らせていただきまして、返ってきている回答が19になります。</p>
委員	<p>この回答で、問題なしという項目があって、これは何名が問題無いとかそういうのが知りたかったので聞きました。もう一個いいです。</p>
会長	<p>コメントありますか、事務局。</p>
事務局	<p>コメントが入っている入っていないに関わらず、問題なしというのは、この場で決める、協議会で決めるのかと考え、あえてチェックを入れられていない方もいらっしゃいました。何人が問題なしとしたのかは数えていないので、次年度以降は考えたいと思います。</p>
委員	<p>この報告と評価は市長宛ですが、これはどういう段階でどこが作って、どこからどこに行く資料ですか。</p>
委員	<p>評価につきましては、法律で必ず評価を受けなさいとなっていますので、市で要項を作りました。この要項は、県のフォーマットを参考にして作成しています。今後、地域に根ざしたグループホームになっていきますので、みなさまのご意見やご助言を事業所にフィードバックして引き続き取り組んでくということになります。</p>
委員	<p>県のフォーマットを参考にとということですけど、これはあえて漢字になってますね、2番目。他は「がい」で打ってもらっているけど、こういうのは変えてもらえますでしょうか。5ページ目の5番の短期入所者の次。地域で生活する障がい者の漢字です。</p>
委員	<p>それに関しては私どもの注意不足です。すべてがいの字を平仮名に修正していきます。</p>
委員	<p>お願いします。</p>
会長	<p>はい、他にラシエルさんに対してのご質問はありますか。</p>
委員	<p>私の方から少し確認させていただいていいですか。研修ですけど、12項目定期的にやっていますが、これはどういう手法</p>

審 議 経 過

	で、例えばレポート提出だけなのか、或いは講師を呼んでの研修なのかを教えてください。
ラシエル	去年までは資料を配付して、各自読んで感想や今後活かしていける部分等の特徴を挙げていました。それでは不十分ではということになりまして全員が揃うという日が無いので、来た職員一人一人に資料とともに解説をして、今回の研修のポイントはここここですということ为例に挙げてくださいというふうにしています。
委員	職員に対してフィードバックできていますか。
ラシエル	研修報告に目を通して理解が浅いとか、少し違うなど感じた場合は必ずその職員に対してフィードバックはしています。しっかり理解してくださってる方には、特にフィードバックはしていませんが、した方が良いのかもしれないですね。
会長	ありがとうございます。 他には、無いでしょうか。
委員	最後にもう一つ。住民との交流が現在ではできていないんですけど、取り組みとか考えていますか。
ラシエル	この質問等を初めていただいて、こういうことができるのかという、地域の福祉委員会と障がい者部会というのがあるということを知らなくて取り組めて無かったのですが、是非地域にも知っていただきたいですし、こういったところと交流を図って地域交流をしていきたいと思っております。逆にお聞きしたいんですけども、コミュニティーの運動会というのは、障がいのある方が行っても楽しめたり、車椅子でも参加できたりするのでしょうか。
委員	加茂のコミュニティーの運動会ですね、障がい者も参加できます。
ラシエル	ありがとうございます。開催されているのは10月ごろでしょうか。
委員	はい、そうです。
ラシエル	分かりました。来年是非参加したいと思います。
委員	川西小学校のコミュニティーの運動会も思いやり席というのを作ったり、高齢者とか障がい者に来ていただけるように配慮しています。ですが、なかなか重度の人は運動会には見えられません。
ラシエル	ありがとうございます。
会長	他はよろしいですか。
委員	はい。ラシエルが設立されて一年未満ということで、慢性的な人員不足で困っていると回答されていますけども、その一年未満に退職者が出ている

審 議 経 過

ラシエル	<p>という認識でよろしいでしょうか。また、その退職された方の理由をどのように把握・理解されていますでしょうか。教えていただけたらと思います。</p> <p>退職理由は一身上の都合という形で退職届をみなさん出されるのですが、家庭の事情であったり、最近では支援が難しい方がご入居されますと、私が管理者としてこの方は支援ができるんじゃないかと考えても、現場の支援員は無理だ心が折れるということと言われて、退職されるという事がここ最近立て続けに起こっています。職員の支援のスキルをあげるようなフォローをしていかないといけない、また医療との連携も取っていかないといけないと感じています。現場でお尻を叩くばかりでは無くして管理者として何ができるかというのでも考えていかないといけないですし、それで職員に辞められてしまうと、残った職員がもっと大変な思いをするわけで、その辺のことも話し合いをするのですが、やはりこのお仕事と言うのは、本当に機械では行えない、人がしないといけないお仕事で、すごくやりがいを感じていただきたいのですが、その前に心が折れてしまうというわけですね。今は求人にも力を入れていますし、きちんとした指導をしていくよう、人間関係でも何ができるのかというのを常々考えながら日々研鑽していかないとと思っているところです。</p>
会長	<p>よろしいですか。どうぞ。</p>
委員	<p>重度の方の支援を上手くできないときは退職に繋がるというお話があって、これは他の事業所もそうだと思うのですが、そういった重度の方の支援のスキルを上げるためには、こういった形で情報を追うのか、こういった手法でやっていこうと思っているのか教えてください。</p>
ラシエル	<p>重度の方に疲弊してしまった訳ではなくて、例えば極度に重度の方がいらっしゃたとして、その方の支援では無いんですね。重度の方の支援は逆に上手くいっているという現状があります。百点満点では無いにしろ、そこで職員が疲れてしまうとかダメになってしまうとかは無いんです。特に区分が高い訳でも無いですし、障がいが重い訳では無いんですが、ちょっと支援しづらい方がいらっしゃいまして、そういった方の対応をどのようにしていけばいいのか、障がいの部分では無く、グループホームで生活をするにあたって、共同生活であったり、他の方と同じところで生活するにあたって、そこを守っていけない方がいらっしゃって、そういった方の対応に手を取られてしまうと、例えば重度の必ず付き添ってお手洗いに行かなければならない方であったり、必ず見守り介助が必要な方の対応をする暇が無くなってしまふみたいな。そういう問題行動がある方の対応をするにあたって、本当に必要な介助ができないジレンマに陥ってしまって、心が折れてしまうという話を職員から言われました。それに対しての人員配置が思うようにできませんでした。今は求人を立てているところでありませぬ。なので、重度の方の対応というところでは無いんですよ。</p>
委員	<p>重度の方の支援はいけてるけど、とにかく問題になる方がいらっしゃって、その方の対応に苦慮してるということですね。そういうときはどうするのかと、みなさんで会議したりされているんでしょうか。</p>

審 議 経 過

ラシエル	もちろん話をするんですがこういう対応をしてくださいと言ったとしても、職員からできないと言われた場合、私もどうしたらいいのか分からなくなってしまって、上に相談をしてもやっぱりこの仕事は、心が折れない人を雇うしか無いんじゃないかという話になってきてます。
会長	他にはどうですか。どうぞ。
委員	グループホームで個別支援の計画を立てられていると思うんですけど、それに基づいての関係者のケア会議、担当者会議はどれくらい開かれているのですか。
ラシエル	まだみなさん入居されて一年経ってないので半年経ったところで一回位です。問題があったときは事業所始め各部署に連絡はして同じ方向性で見ているかと相談をしながら、みなさんにお力を借りてやっています。
委員	きっと心が折れ切ってしまう前に、医療職との連携とか他職種連携、先に行くグループホームの人の知恵なんかも、連絡協議会で得られると思うので、そういったものも得ながら、先手を打つ動きをされているのを知りたかったのでお聞きしました。 上手に担当者会議やケア会議、今日ここにお越しになって無いですけど、圏域コーディネーターなどを活用されては。
ラシエル	圏域コーディネーターというのは。
委員	障がい者の圏域です。毎月の連絡会には行かれてませんか。
ラシエル	はい。
委員	周りの社会資源とかを上手く取り入れて、職員の離職防止というか、障がい者への上手いサービス提供に繋がればと思って聞いていました。併せてもうちょっと整わないと、実習生の利用というのも導入が難しいだろうと思んですけど、だいたい実習に行って、気に入ってそこに入ってくれるというのが、福祉畑の就職の仕方だと聞いていますので、これからそうなってくれたら嬉しいなと聞いていました。
ラシエル	ありがとうございます。
委員	車椅子の人と徒歩避難の人の、すぐに職員が付くことが課題で訓練しているということでしたけども、ルールはもう決まったんでしょうか。
ラシエル	車椅子の方は今は一名なので、その方に必ず一名付き添うように考えています。
委員	それは誰が付くんですか。毎日同じ職員というわけにはいかないですよ。その日のリーダーが必ず付くとかにすれば、人が変わったって毎日運用できますけども、個人に割り当てると毎日毎日崩れますんで、そういうのは今でもすぐ手が取れる体制作りかなと思って聞いていました。

審 議 経 過

ラシエル	はい。じゃリーダーを。リーダーもまだ決めて無くて、リーダーを決めたらリーダー発信もできますね。ありがとうございました。
委員	是非お願いします。
会長	ありがとうございます。質疑はこの程度にさせていただいて、改田さまにはご退席いただこうと思います。 (ラシエル退席) そうしましたら評価という事で質疑等、資料を参考にご意見、まず一つは先ほど言いましたように良い点ですね或いはこのところは期待ができるのではないかというのがありましたらご意見をもらえたらと思います。
委員	今回初めての評価で、グループホームも何も分からない中での話、なかなか評価とか良い点とか見つけにくいとは思いますが、今聞いていた中で思ったこととかでもいいですか？
会長	どうぞ。
委員	まず障がい者の施設として評価される、監査されるべき点は別でされるという事ですね。今回はあくまで地域の方の意見を聞くための目標とさせていただくということなので。あと今回の書式に問題なしと一項目ずつ書いてあったんですけど、今良い点とか改善点を聞かれているという事は、一個一個の項目に問題なしと決めていくのか、それか総括みたいな形が最終形なのか、そこら辺のイメージを伝えていただけると発言しやすいのかなと思います。
委員	今回、問題なしというフォーマットになっているけど、この問題なしはいらぬのかなと思ってるんですけど。
委員	確かにおっしゃるようにここで指導するわけではありません。ここを工夫してもらったらもっと良い事業所になるんじゃないかというのを地域からの意見をもらう、要は地域に根ざしたものをもっと良くなるために協議会から助言的なものを伝えて次年度に取り組んでもらう。要は次年度に向けて何をこの事業所に対して、協議会から求めていくのかをまとめて入れるということになります。
会長	ここではざっくりで良いわけですね。今まで聞いてきたこと、或いはここに書いてあること、或いは先ほどお聞きした中で、特にここはいいなという点、特にここは改善が必要かなという点を示してあげて、最後の整理は事務局でやると。それくらいの気持ちでやってもらえたらということですね。
委員	初めての取り組みという事で、事前に取り組みを書面で見せてもらって、事業所の担当者の考え方などを生で聞けてすごくよかったと思います。それにこういったところで発表する機会があれば、開設された方の意識付けにも良くて、ただでさえ虐待とかすごく問題になってきているところで、こういった対応をしてますというのを施設の代表の方が言ってくだされれば、私たち当事者の保護者としてはすごく安心だし、市と社協が関わっ

審 議 経 過

	<p>てくれているということがすごく安心感があります。</p>
委員	<p>ありがとうございます。基本的に今回みなさんにいただいた意見は各事業所には伝わります。その中で来年もう一度同じような形で評価し直す形になると思うんですけど、その時にまた改善点、今回のご意見に対してどういうふうに取り組んでいただいたとか、どういう答えが出たとか言うのは来年度に発表いただく形になろうかと思います。今回我々にしても全く初めての取り組みだったので、どういう捉え方でいこうかと思うところもありました。良い点と改善点と言うのは出てくると思うんですけど、改善点は今回ご意見いただいたことがほぼ改善点に近いのかなと思います。今日話を聞かせてもらって良かったかなと思うのが、虐待への意識付けができてきていて、それに対して管理者として答えてくれているのかなと、思いました。</p>
委員	<p>ラシエルに入居されたら提携されている医療機関や訪問看護に切り替わるという事なんです。必ずかどうかは定かで無いんですけど。実際今までに切り替わった例がありまして、往診があるということは非常に良いこと、でも逆に医療が切り替わるということが悪い点。そこが今後関係性の構築というか、訪問看護を入れてもらえるかどうか検討していただけるのかなというのが一つあります。</p>
委員	<p>特にメンタルの方は、ころころ変わられると信頼関係もありますもんね</p>
委員	<p>そうです。精神科に入院されている方を退院で受け入れているケースが多いんです。</p>
委員	<p>医療が中心になってくる場所ですね。</p>
委員	<p>良い点はこういう場に来てね。悪い点は大丈夫かなと思いついて頑張って欲しいなということです。</p>
委員	<p>その辺の評価は来年度持ち込むということで、今回こういった意見をいただいたという事はラシエルにも伝えておきますんで。ありがとうございました。</p>
委員	<p>ちょっとお聞きしたいんですけども、施設に入所していても自立支援法が成立するんですか。</p>
委員	<p>グループホームは施設ではなく、自宅扱いになりますので在宅での支援ということになります。</p>
会長	<p>それでは次の事業所になります。 (ソーシャルインクルー入室) ソーシャルインクルーから、事前に提出いただいた資料を基に我々の意見をまとめたものをお渡ししております。書類に書いたこと以外で、説明しておきたいという事があればお願いいたします。</p>
ソーシャル	<p>特にありません。</p>

審 議 経 過

会長	ありがとうございます。そうしましたら、事前に各委員からいただいた質問の中から選ばせてもらった質問を私どもからさせていただきます。まず資料4ページ、災害関係ですね。BCP事業継続計画や安全対策等のマニュアルはありますかということと、もう一つは避難訓練を実施して課題はありましたか。というところをお願いします。
ソーシャル	施設が立ち上がって8ヶ月ほどですけど、基本的に実施できておりません。今回消防局の方に入っていただきまして、事前に色んな対策なり、見えないところを点検していただきまして、今後の対策として書類をお預かりいたしました。それに基づいて、避難訓練や災害に対するマニュアル作りはこれからやって行きたいと思って、今やっている最中でございます。
会長	今後マニュアル作りと訓練をされていくということによろしいですか。
ソーシャル	はい。
会長	次に資料の5ページです。体調急変等の緊急時の対応なんですが、マニュアルがあるのかということと、マニュアルの内容や課題点について現場職員と共有できていますでしょうか。
ソーシャル	最近緊急時に対することが起こりまして、私並びに役所の方で対応いたしました。その時に全くマニュアルがございませんでしたので、共有しながら作成いたしております。最近緊急ではないんですけど、同じような案件がありましたので、そのマニュアル通りに対応していただいております。
会長	事例が2つあって1回目の時は無かったと。
ソーシャル	はい。1回目の時は全くありませんでした。
会長	2回目までに整備をされたということですね。
ソーシャル	救急車を呼ぶとか個人情報をきちんと提示できるという状況も含めて、緊急連絡先やご家族へ連絡をすとかですね、緊急時の行動を明確にするように作っております。
会長	2回目はそのとおりに動かれて、課題とかは無かったですか。
ソーシャル	1回目の反省が結構ありましたので、2回目はそういうことが無いようには作っております。
会長	それでは次の質問ですが、資料7ページ、研修等についてですが、研修計画等がありますかということと、研修以外で支援の質を確保するために実施している事はありますかでしょうか。
ソーシャル	各施設に対する研修、入社後の研修もそうですけれども、毎月の研修というものを提示、提出するようにと言われておりますので、それをきちんと

審 議 経 過

	提出しながら、支援者同士での話し合いを設けながらやっています。他にも色んな研修をするために、今現在も支援員が ZOOM で研修中でございます。これからも支援員たちの知識向上と安全、利用者との安全確保のために、研修を行って行く計画を立てているところです。
会長	企画中ということですね。
ソーシャル	そうです。
会長	次に資料の 10 ページ、利用者のプライバシーの関係ですね。あと物品の管理で、職員に対する指導や教育はどのようにされていますか。
ソーシャル	うちの方では元々管理者がきちんとおられず、書類整理並びに書類管理は一般の支援員が行っておりましたので、プライバシーの確保なり、個人情報書類なりがきちんと揃った状態ではありませんでした。私は 10 月から管理者として赴任しまして、一から全部書類を揃えながら、ある一部の人間しか扱えない情報はキャビネットに入れ、鍵を掛けて保管するようにしました。支援員同士で共有できる情報というものをこちらできちんとピックアップして、入居に応じてとかですね、緊急対応に応じての話し合いもできるように、他の支援員も見れる状態にしているところの振り分けをしております。
会長	それでは、最後に、虐待とか権利侵害の関係です。研修とかはされているということだと思うんですが、その研修後、職員の意識や行動に変化はありましたでしょうか。
ソーシャル	そうですね。この件に関しましては、最近、虐待といわれるような案件がありましたので、市役所と社協に連絡しまして、お話をさせていただいているところでございます。現在その件に関しましても継続して調査、対応をさせていただいているところです。
会長	以上、大きな質問をしてきましたが、みなさんから何かご質問はありませんか。
委員	精神科病院なんかでは、虐待防止マニュアルの作成を定められていて、どこの病院でもあるような状況なんですけど、グループホームとかでもあるようなものなんでしょうか。そちらでは虐待防止マニュアルはありますか？
ソーシャル	はい。虐待マニュアルはありますし、本社からこれを共有するようという形で、施設の方で預かってみなで共有していくようにやっているところなんですけど、それが行き届かない。きちんと理解できない支援員も数名おられて、それを注意しながら見ていた矢先に事案が発生したので、もう一度身を引き締めて、この辺に関しては徹底してやっていくというところを心がけているところで、今本社と話しています。
委員	一つは職員の教育というところもあるんですけど、もう一つはマニュアルの中で実際発生した時の対応をどうされたかというところが問われてい

審 議 経 過

	て、先ほどは市役所と社協に報告したっておっしゃってましたけれども、それはマニュアルに速やかにとか書いてある手順で進められたと評価はされているのでしょうか？
ソーシャル	起こった時点できちんと本人並びに色んな話を聞き、うちはビデオカメラもあるのでそれを確認した後、判明した時点で速やかに市役所並びに社協へ連絡をした次第です。
上原委員	内部で話し合われる、委員会などがあるということでもいいですか。
ソーシャル	今の状態で上層部の方と話をして、本人および虐待を行った当事者並びにご家族に対する対応を、これからを検討して行くという形で報告は受けています。
上原委員	自助組織の中に評価する委員会もあるということで問題無いですね。
ソーシャル	はい。そうです。
会長	他にいかがでしょうか。
委員	この10月から赴任されて改善されたということですが、着任されてからとその前というのは、背景というか整備されていないことがあったのでしょうか。
ソーシャル	管理者がここ8ヶ月の間に数名変わりがあって、引き継ぎも何も無く、書類は手を付けられてないということがあったんです。私が赴任してきました、色んな書類を確認させて頂きましたが、相当不備があり、個人情報も誰でも見られてしまう形であったんです。なのでこれはいけないなというところで、やっぱり個人情報並びに虐待というのは、以前赴任していたところでもその辺は厳しくやりましたので、これからはこの施設でも取り組み始めているところです。ようやく少しずつですけど個人情報とかの他にですね、財産になるようなもの、お金並びに虐待について少しずつですけども、ご利用者のご家族並びに支援者たちに講習並びに研修を行っている最中でございます。
会長	はい。質疑はいかがでしょう。
委員	こちらのグループホームは強度行動障がいのある人の受け入れができるホームというところが特徴なのかなと、資料から読ませて頂いたんですが、強度行動障がいがあったら、とてもケアが難しいと思うんですけどそのあたりの取り組みとか、いかがなものでしょうか。
ソーシャル	そのあたりはなかなか支援をする方には分かりづらいところで、ご理解されていない支援員さんもいましたので、その研修として、今月から一人ずつ強度行動障がいに対する研修をZOOMで行っております。本社でも重度ということに力を入れていますので、研修も随時行っていくということで計画を立てています。

審 議 経 過

会長	<p>他に無ければ評価の方に移りたいのですがよろしいでしょうかね。そうしましたらソーシャルインクルーさんありがとうございました。</p> <p>(ソーシャルインクルー退席)</p> <p>そうしましたら先ほどと同じように、良いところ、改善するところどちらからでも結構ですので思った通りにご意見をお願いします。</p>
委員	<p>先のラシエルは、日中のサービスを受けていますかという質問項目のところで、3名で生活介護と移動支援と言うサービスを受けていた、中には使っていますと回答をされています。ラシエルは本当の日中支援型という形でいわゆる生活介護事業所に通うことを推奨されていない、要は日中作業所に通えない状況として聞いていたんですけども、お一人どうしても生活介護が必要な方が利用されているが、基本はダメということ。一方ソーシャルインクルーは、日中支援型のもう一つの形態というような、作業、生活介護事業所にそのまま通えるというスタンスを取られていて、ソーシャルインクルーに入ったとしても日中の活動場所を変えなくて済むというか、そこが従来通りというところが利点というか良いところだと思います。悪いところは、この10月から先ほどの管理者が着任されていて、それ以前の8ヶ月がいわゆる後手後手の問題ばかりというような、知っている方はご存じということで、あまり質問が無かったのもそういう背景を知っていらっしゃる方もいるからかなと思います。期待するところは本当により良い画期的なグループホームなので維持していただけるように、より良いグループホームになって欲しいな一言に尽きるかなと。特に個人情報というかプライバシー、保険証だったりお金だったり、それこそ自立支援医療、受給者証とか、そういったところが本当にずさんだったんです。そこら辺はやっぱり徹底して改善して欲しいかなというのは私の意見としてあります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>これ認可が下りたからやってるんでしょ、一応。</p>
委員	<p>もちろんです。県から指定を受けてでないと運営できません。</p>
委員	<p>そうでしょ。A型、B型でも緩いと思います。障がいがある人のために、作ってもらってるんですけど、なんの実態も無いんじゃないかというところが、いくつかあるように思います。書類だけで通すんだというのが実感です。本当にOKだすんだったら、やっぱり責任というか、障がいのある人の命を扱うんだから、もう少し上手く受け止めて欲しいなと思いました。管理者がにころころ、ころころ変わるところを認めてるんだというのは驚きました。</p>
委員	<p>要は安定した運営を望みたい、求めたいということですね。</p>
委員	<p>今回新しい管理者が入ってるということで、そこの部分はしっかり改善して欲しい、実際に改善しようとしているところは非常に良かったかなと思います。ただ、そこの部分は職員までにも徹底して欲しい。ただ単純に上だけ飾るのではなくて、職員に浸透できるように改善して欲しいというのが事業所に対しての希望です。</p>

審 議 経 過

委員	<p>この資料を初めて見て、どなたかが書いてらっしゃるように、辞める方が多いなと思いました。内容としては先ほどのお話を聞いたら、やっぱり大変な人が多かったので、支援が大変で辞める方も多いし退去者4人というのちょっと多いなと思います。一年も経たないのに、これはたぶん支援する人もされてる人もやっぱりしんどかったんじゃないかなと思うので、先ほどの施設長の、人柄というのが少し見えたので、凄く穏やかないい方と見えたのでそこは少し安心しました。強度行動障がいの方を受け入れてるということで私としては凄くね前向きで良い取り組みやと思うんです。自分の子どもで大変ですけど、凄く大変な子どもを四六時中ずーっと見てきて、ここに入所させた保護者の方を思うと本当にありがたいと思ってると思うんです。施設に入れさせてもらってね。だけど支援して行く方としてはかなりの覚悟がいる方たちなので、ここをやっぱり支援をしていく方たちをサポートというか、育てていくのは本当事業所としては大変だし、頑張ってる成熟していった欲しいなと思います。先ほどZOOMでね支援者の教育をされているとおっしゃったんで、どんな支援しているのかは気になりました。</p>
委員	<p>聞いているのは、強度行動障がいの研修を行ってるんですけど、今対人ではできないのでZOOMでしていると。正式な研修であるのは間違いないです。</p>
委員	<p>研修ももちろん大切だし、支援のあり方もそうですけど、やっぱり施設として、合理的配慮というか、視覚的なものを取り入れることで、ずいぶん強度行動障がいの人の問題行動も減るので、そういったことも併せて支援をするのと、スキルの方の視覚化も取り入れながら、支援をする人がなるべく負担の無いように続けていってもらえたらなという希望があります。</p>
委員	<p>確かに管理者が、9ヶ月10ヶ月の間にころころ変わってしまったのは事実です。その度に相談支援員もなかなか調整が取りにくくて結構大変でした。今もそんなに収まっている感じでは無いんですけど、新しい管理者が来て芯が一個できたのかなと思います。また今回、強行の研修も受けてくれているということで、専門性なり担保されてくるのかなと期待しています。昨日の夕方行ったんですけど、入所されている方が凄く穏やかになっていました。それは凄く嬉しかったと実感しました。ただ辞めらる方もいて、退所する方も一定数は出てくると思うので、退所の原因であったり、入所時にもう少ししっかり、利用者を知ってから受けて欲しいなと思っています。それが退所に繋がったりしているのかなという感想もあります。</p>
委員	<p>近隣市では川西市で初めて、2カ所同時に日中サービス支援型ができて、各市もみんな入れたいというのはあるんですけど、正直初めての施設ですので、市としては色んな課題はあるんです。色んなや助言や指導もしたりしてます。大事な社会資源なので法人と相談しながら、市でもバックアップして、良い事業所に育ってもらうために、社協とも一緒にやっています。今回おっしゃるように管理者やサビ管が変わると安定した運営ができないのでそこは大きな注目する点かと思います。強度行動障がいの支援は難しいところがあるので、やはり研修を受けてしっかり理解して対</p>

審 議 経 過

委員	<p>応する、併せて職員もバックアップしていかないと、そこが大事な部分です。事業所はもっとやって欲しいなと思うところです。</p> <p>先のグループホームの時にも、将来地域の中核としてやっていってもらわないといけないから、ここで期待することを意見としてだすんだという話があったと思うんですけど、そもそも川西市は2つの新タイプのグループホームにどんなことを期待して、導入してたのですか。</p>
委員	<p>期待としては緊急時の対応ですね。国も書いているように、より在宅支援の時に緊急に入った時に、市内に地域生活支援拠点はありますが、小さい地域生活支援拠点ですので、短期入所も受け入れは1床だけですので、全部に対応できるわけではない。そういう部分も、日中サービス支援グループホームに担って頂きたいという部分もあります。いまずぐにお願いするのは難しいと思うので、事業所の運営が安定したタイミングで話をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>介護保険で結構先駆的な取り組みを昔からされてましたよね。その背景として大学との連携というのが強みの一つだったのかなと思っています。強度行動障がいの方のことで、直接支援者が主治医に相談に行っても、ある一定のところまで終わってしまいますよね。なので、そういう強い先生をどこかから呼んでくるのを、先ほどの法人に期待するとおっしゃったんですけど、グループホームだけではなくて、他のグループホームとか、通所型の施設とかでも支援してあげる体制作りを一緒になってやらないといけないなと思いながら今日の話は聞いていました。</p>
委員	<p>特にラシエルさんでは、主に地域移行の方が多いのかなと、いわゆる精神患者の地域移行はラシエルが主に受け入れをしていると聞いておりますので、そういう意味では病院との連携、あとは保健所との連携は必要になってくると思います。今後そういう部分で市、保健所が、どんな形でバックアップできるか、そういう議論が必要かと思うので、この場で議論できたらなと思います。</p>
委員	<p>精神部会も再会されると聞いてますので。</p>
委員	<p>精神障がい者支援部会には、地域の精神クリニックさんにも入ってもらってますので、地域の病院と市とグループホームと事業所と、そこら辺の連携をどう工夫してできるかというのはあると思っています。</p>
委員	<p>それともう一つ、私たちがサポートしてくれる病院、大きい病院とか学識経験者とかをどう捕まえて行くかという視点も必要なくらい難しいケースを扱っているのだと思っています。</p>
会長	<p>一組目と同じように、評価としてまとめさせていただきます。ありがとうございました。そうしましたら、3項目目、その他何かありますか。</p>
委員	<p>机の上にパンフレット置いてます。1枚は今週土曜日、障がい者一日サロン。12月3日から12月9日は障がい者週間です。これは総合支援法で決められていて、各市町はこの間に色んな事業を行って、市民に対して障が</p>

審 議 経 過

	<p>い福祉を啓発していきましようという週間です。川西市のメインイベントはこの障がい者一日サロンです。今年手話言語条例を4月1日に施行しましたので、その記念としてシンポジウムを開催します。今回、お笑い芸人の河本準一さんをお呼びして、パネルディスカッションに登壇してもらいます。河本さんはろう者と手話で会話できる位、手話ができますので、「手話ってなあに？」というテーマでパネルディスカッションの中で、お話しして頂こうかなと思っています。12月3日土曜日、是非みなさんお越し頂きたいという宣伝を含めてお願いします。</p> <p>もう一つ障がい者の雇用です。市の中で雇用就労推進本部を立ち上げて、ハローワークや社協、産業、障がいも入って、障がい者の雇用と就労、福祉就労と一般就労とを併せて取り組んでいくということを進めております。その事業の一つとして、やはり障がい者の就労は、8時間は難しいという方も多いので、短時間就労をメインターゲットにしてこういう研修を予定しております。企業での人材確保を考えてもらう中で、障がい者の活躍の場を設ける事ができたらなど、ソフトバンクで実際に取り組まれている事例を紹介していただくという講演会です。1月20日に市役所で行います。ZOOMも同時にできますので、是非みなさんの知っている企業にご案内いただいて、宣伝頂きたいと思っています。今回は商工会に登録しています1200の事業所に発信していきまして、どれくらいの参加があるかわかりませんが、障がい者の多様な就労に繋がればと思っています。あと裏面に、企業のニーズ調査もやってまいります。市の方でこういう取り組みをやってますので情報提供をさせていただきます。以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。以上で本日予定しておりました議事は終了しました。これをもちまして第2回川西市障がい者自立支援協会を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>